

令和6年度第1回学校運営協議会 議事録

○日時：令和6年6月28日（金）14：00～15：30

○場所：三刀屋高校掛合分校 音楽室

○出席者：学校運営協議会委員 7名（※50音順による 敬称略）

飯塚 真(掛合分校同窓会長)、石飛 登芳(社会福祉法人仁寿会サービス管理責任者)、
小川 真里(掛合町文化協会事務局)、白築 敏彦(掛合自治振興会事務局長)、難波 順子(雲
南市立掛合中学校長)、松村 知子(掛合子育て支援センター職員)、吉村 淳(掛合分校PT
A会長)

学校関係 2名

本間 達也(三刀屋高等学校長)、小川 剛(三刀屋高等学校掛合分校副校長)

○次第及び協議内容等（概要）

- (1) 委嘱状交付及び役員選出 → 会長：小川委員、副会長：吉村委員
- (2) 学校経営方針等について → 校長から説明後承認
- (3) 学校現況報告 → 副校長より説明
- (4) 意見聴取

○意見交換等における主な意見等（概要）

- ・卒業した以前に比べて生徒数が増えている。重点目標5項目（学力の育成、キャリア教育の推進、活躍の場がある環境づくり、居場所のある環境づくり、安心・安全な学びの環境づくり）も幅広くやっておられるが、すべての生徒に対して必ずしも合致しない面があることは仕方ないことではある。
- ・生徒一人一人の気持ちを汲み取って教育活動していただいている。
- ・我々が誇れる高校、自慢の高校になっている。地域としても応援していきたい。
- ・地域づくりに学校は欠かせない、最重要ポストは学校、子どもたちである。
- ・入間花田植えの様子も感心した。生徒たちの、早乙女、苗渡しとそれぞれ与えられた役割に気持ちがこめられていた。
- ・分校のグランドデザインが魅力的で、『掛高には「本物」がある。』というキーワードが授業のあり方であったり、地域へ出かけて探究学習であったり、そういう活動につながっている。生徒たちの様子を見ると、そういった活動がうまく積み重なっていると感じる。
- ・保護者と先生の面談は任意だったりするが、保護者に学校のことを理解してもらうためにも、保護者をもっと引き入れて子どもの状況を説明してほしい。保護者へ情報を伝えるべきである。それがあれば保護者も学校に対する理解が深まるはずである。家庭では子どもの状況がなかなかわからないものである。